

生成 AI の教育的活用とその可能性

～レポート評価システムによる効果的なフィードバックの実現～

飯綱町立飯綱中学校 高野健人

1. はじめに ―「提出したら終わり」から「書き直して伸びる」へ

本システムの最大の魅力は、生徒がレポートを提出した瞬間に生成 AI が教師設定のルーブリックを読み取り、わずか数十秒でフィードバックを返す点にある。生成 AI は“下書き段階のコーチ”として 良い点・改善点・根拠引用 を提示し、評価基準に照らして不足箇所を可視化する。生徒は教室でも家庭でも

「提出 → 生成 AI による回答 → 自主改善」を繰り返し、教師への提出前に完成度を高められるため、学びが連続的に深化する。

一方、生成 AI がレポートに対する評価と引用根拠を即時生成してくれるため、教師はコメント作成や一律チェックに費やしていた時間を大幅に圧縮でき、そのリソースを“本当に支援を必要とする”生徒への対話・個別指導に集中できる。最終的なレポートの評価は教師が確認して決定する仕組みなので、評価の公正さと専門性も揺るがない。

2. システムの全体像 ―「アップロード→AI 評価→履歴化」の三拍子

本システムは Google Workspace と Gemini API だけで動く、極めてシンプルな三層構造である。

- (1) 生徒がレポート (PDF) をアップロードすると同時に Google Drive (教師用) に保存
 - (2) Apps Script が OCR で本文を抽出し、ルーブリックを添えて Azure へ送信
 - (3) 返ってきたフィードバックをそのままスプレッドシートに書き込み、生徒画面へ即時送信
- という流れで、外部サーバや複雑な認証基盤を一切必要としない。

3. 操作フロー ―生徒も教師も「クリックして待つだけ」

3-1 生徒側の 3 ステップ

(1) ログイン

ブラウザにパスワードを入力して Enter。学籍番号やメール認証は不要 (図1)。

(2) アップロード

「ファイルを選択」ボタンで PDF を添付し、「レポートを送信」ボタンで送信する。

(3) 生成 AI からの回答の確認

平均 30 秒で良い点・改善点・引用根拠 (赤・緑バー) が表示される (図2)。生成 AI からの回答を参考にレポートを自主改善し、練り上げていく。

図1 ログイン画面 (生徒用)

ようこそ、Aさん！

レポートをアップロードして、フィードバックを受け取りましょう。

レポートアップロード

ファイルを選択

エネルギー変換のまとめ.pdf

レポートを送信

フィードバック

【・題材「エネルギー枯渇問題」に対する深い理解が示されているか】

良い点:

エネルギー枯渇問題の現状と、それに対する具体的な対策が個人レベルと社会レベルの両方で示されています。それぞれの対策が、社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷という4つの視点と関連付けられている点も評価できます。

エネルギーの問題は「難しい理科の話」ではなく、家でスイッチを切る、歩いて学校へ行くといった毎日の選択の積み重ねです。そして、社会が仕組みを整えれば、その小さな行動が何十倍にも大きな力になります。

改善点:

各対策が4つの視点にどのように貢献するかについて、もう少し深掘りすると、レポートの説得力が増します。例えば、省エネ建物を当たり前にする法律が、安全性にどのように貢献するのか、具体的な例を挙げて説明すると、より理解が深まります。

省エネ住宅は夏も冬も快適でヒートショック事故が減る。停電リスクも下がる。

提出履歴を表示

図2 生成AIからの回答（生徒用）

3-2 教師側の 3 ステップ

(1) ルーブリックの入力

シート「評価基準」に評価項目・評価基準・満点を打ち込む（図3）。

評価項目	評価基準	点数(満点) * 未入力4点満点
・題材「エネルギー枯渇問題」に対する深い理解が示されているか	0: 記述無し／誤解あり 1~5: キーワードに触れるのみ 6~10: 概要説明は出来ているが誤り・不足あり 11~15: 要点を押さえ正確だが具体例が弱い 16~20: 背景・要因・影響まで具体例を交えて深く考察	20
・【個人としてできること】、【社会としてできること】が分類されて説明されているか	0: 区別が無い 1~5: 見出しのみ 5~10: 区別しているが混同が多い 11~15: 概ね分類出来ているが具体性不足 16~20: 両者を明確に区別し具体例も十分	20
・4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）が適切に関連付けられているか	0: 視点に触れていない 1~10: 1つだけ触れる 11~20: 2-3 視点を列挙するのみ 21~30: 4 視点を示すが関連が浅い 31~40: 4 視点を具体的事例で相互に関連付けて論述	40
・主張を支える具体的な例やデータが挙げられているか	0: 例・データ無し 1~5: 出典不明の例のみ 6~10: 数値や事例はあるが不正確 11~15: 妥当な例・データを提示する量が不足 16~20: 信頼できる出典付きで十分な例・データを提示	20

図3 ルーブリックの例（教師用）

(2) プロンプトの入力

生徒のレポートと一緒に生成 AI に渡す指示文（図4）であり、これによって回答が変化する。

② 生成AIへの指示（プロンプト）
以下は生徒のレポートです。各評価基準に基づき、良い点と改善が必要な点を生徒に向けてそれぞれコメントしてください。コメントは中学生2年生が理解できる言葉を使ってください。重要な点: 1. 評価基準を完全に満たしているかを詳細に判断し、部分的に満たしている場合はどの部分が不足しているかを具体的に指摘してください。 2. 「4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）」のうち、記述されていない「視点」がある場合には必ず指摘してください。 3. 「個人としてできること」、「社会としてできること」の2つに分類されて、記述されていない場合には必ず指摘してください。 4. ある程度レポートができていない場合には「具体例を追加して記述する」ように促してください。 5. 単純に「良い点」や「改善点」を挙げるのではなく、論理的な一貫性や具体性の欠如があれば、それを指摘し、生徒がどのように改善すればよいかを具体的に提案してください。 6. キーワードの有無で判断せず、内容がどの程度深く、論理的に構成されているかを基準としてください。 7. 「例えば」や「例」を用いた具体例の回答は避け、生徒が模倣しないようにしてください。 8. 「生徒は」という回答の仕方はしないでください。 9. レポートに最初から記述されている指示文「エネルギー変換⑨【あなたの考え編】 題材の学習問題「エネルギー枯渇問題に対してどのようなことができるのだろうか？」に対するあなたの考えを4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）に関連させながら【個人としてできること】と【社会としてできること】に分類してまとめなさい。」は評価に入れずに生徒の記述した文章のみについて回答してください。 10. 「良い点」がない場合には「良い点」については回答しないでください。

図4 プロンプトの例（教師用）

(3) モニタリング

シート「ログ一覧」にリアルタイムで生成 AI による回答と点数が反映されるので、全生徒の進捗を確認しつつ、低得点の生徒を即座に声かけできる。

日時	生徒名	ファイル名	ファイルURL	・題材「エネルギー枯渇問題」に対する深い理解が示されているか	引用文書	満点20点	・【個人としてできること】、【社会としてできること】が分類されて説明されているか
2025/07/04 12:29:59	A	エネルギー変換のまとめ.pdf	https://drive.google.com/file/d/15Y1u77GOS-Txj65ScamBMMAmyLE02N/view?usp=drivesdk	エネルギー枯渇問題の現状と、それに対する具体的な対策が個人レベルと社会レベルの両方で示されています。それぞれの対策が、社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷という4つの視点に関連付けられている点に評価できます。 改善点: 各対策4つの視点にとどまらずに貢献する点について、もう少し深掘りすると、レポートの説得力が増します。例えば、省エネ建物を当たり前にする法律が、安全性にどのように貢献しているのか、具体的な例を挙げて説明すると、より理解が深まります。	G:エネルギー問題は「難しい理科の話」ではなく、家でスイッチを切る、歩いて学校へ行くといった毎日の選択の積み重ねです。そして、社会が仕組みを整えれば、その小さな行動が何十億にも大きな力になります。 B:省エネ住宅は夏も冬も快適でヒートショック事故が減る。停電リスクも下がる。	16	エネルギー枯渇問題に対して、個人と社会ができることに分類して説明しようという意図が見えます。その行動が、エネルギー問題の解決にどう繋がるのかも説明する必要があります。 改善点: レポート全体を通して、4つの視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）との関連付けが弱い部分です。特に、個人の行動と社会の取り組みが、それぞれの点に貢献するのかが、より詳しく説明すると、内容が深まります。 例えば、スイッチOFF習慣が「社会からの要求」である世代への責任にどう繋がるのか、経済性では電気代が外にどんな影響があるのか、安全性や環境への負荷の相違があるかを具体的に記述してみよう。 また、社会としてできることについても同様で、それとの関連性を具体的に記述することで、より説得力のあるトになります。
2025/07/04 1:25:22	A	エネルギー変換のまとめ.pdf	https://drive.google.com/file/d/1apAA1DafG9HrMoujE1e5hLkVmafo9/view?usp=drivesdk	エネルギー枯渇問題の現状と、それに対する具体的な対策が個人と社会の両面から述べられており、理解の深さが見えます。特に、具体的な行動例を提示している点は、読者に行動を促す上での効果的です。 改善点: レポート全体を通して、経済性、安全性、環境への負荷といった視点は具体的に記述されていますが、社会からの要求という視点への波及がやや弱い印象を受けます。 社会からの要求は、単に「電気は止まらない安心」だけでなく、エネルギー問題に対する社会全体の認識や、公平性、倫理的な側面なども含みます。これらの要素を考慮し、記述を深めることで、レポートの完成度をさらに高めることができます。	G:スイッチ OFF 習慣 0 使っていないテレビやゲーム機は主電源を切るだけで、家の電気代が年間 900 円はぐんぐん下がり、二酸化炭素も 14 kg 減ります。 B 社会からの要求 0 電気は止まらない安心と、未来の世代への責任。	16	エネルギー枯渇問題の原因が、それに対する具体的な対策と社会の両方のレベルで記述されています。それぞれの社会、経済、安全、環境への影響と関連付けられています。 改善点: それぞれの視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）について、記述がやや抽象的です。それぞれが、なぜその視点を貢献するのか、より具体的な説明が必要になります。さらに理解が深まります。 例えば、社会からの要求について、「電気は止まらない未来の世代への責任」とありますが、具体的にどのようニーズに込められているのか、どのような影響があるのかを問いかけてみましょう。 また、個人としてできること、社会としてできることと区別して記述していますが、それぞれの項目の中で、どの対策がどの点に貢献しているのかも明示すると、レポート全体の論理性が高まります。
				エネルギー枯渇問題に対して、個人と社会ができることを分けて記述しようとしている点は良いです。 また、個人として節電や徒歩での移動を心がけると、社会としてソーラーパネルの設置による発電を提案していることから、問題意識を持っていることが伺えます。 改善点: レポート全体として、記述がやや断片的で、それぞれの視			個人としてできること、社会としてできることの見出しを区別しようという意図が見られます。 改善点: レポート全体として、具体性と考察の深さが足りません。エネルギー枯渇問題に対する対策を考えると、（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）を

図5 ログの例（教師用）

4. おわりに ―教室に“学びを循環させる”評価文化を

- 導入コストはゼロ同然

Google Workspace 内で完結し、API キーとルーブリックを入力するだけで稼働。

- 履歴の一元管理

生成 AI からの回答・点数・引用根拠を自動蓄積。いつでも学習履歴と評価過程を説明できる。

- 生徒が自ら学びを深めるサイクル

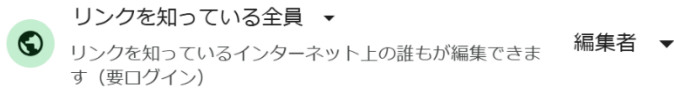
「提出 → 生成 AI による回答 → 自主改善」が日常化し、レポートが“提出して終わり”の資料ではなく“成長を促すエンジン”へと変わる。

このシステムを通じて、教師は本当に手を差し伸べるべき生徒に時間を使い、生徒は自分の学びを主体的に磨き上げられる。―教室に、データと対話が織りなす新しい評価文化を。

レポート評価システム ver2.0 のセットアップマニュアル

- ① Google ドライブのマイドライブ内に「新しいフォルダ」を作成する。(例：〇年〇組 〇〇レポートなど)
- ② 設定は「共有」から「リンクを知っている全員」編集者とする

一般的なアクセス



- ③ FOLDER_ID の取得



- ④ 下記の URL に移行し、ファイルを自身のドライブにコピーする

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1UHZuafvolVZu55ZUsmqwDw3mmWvOnx4NRQdyA9tmjx0/copy?urp=gmail_link



ドキュメントのコピー



▲ 添付の Apps Script ファイルと機能もコピーされます

「レポート評価システム2.0 (ひな)」のコピーを作成しますか？

コピーを作成

Apps Script ファイルを表示

- ⑤ スプレッドシートのシート「初期設定」を開き、生徒名とパスワード、ドライブ ID を入力する

*③で取得したドライブ ID (赤下線) を入力する

*指定したドライブに生徒の提出したレポート (PDF) が蓄積されていく

名前	パスワード	ドライブID
A	1111	
B	2222	
C	3333	
D	4444	

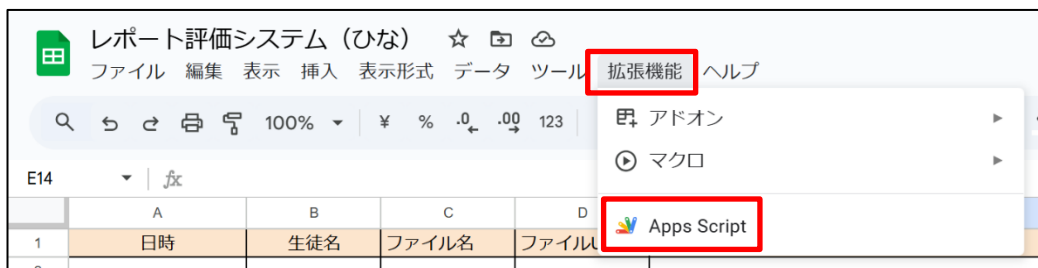
⑤ スプレッドシートのシート「評価基準」を開き、例に沿って各項目を入力する

生成AIに生徒がどのような項目でレポートを書いているのか教えるセル	生成AIにどのようなこのレポートのねらいを教えるセル	評価項目	評価基準	点数(満点) *未入力4点満点
4 視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）を関連させながら【個人としてできること】と【社会としてできること】に分類してまとめない。	このレポートは中学校技術のエネルギー変換のまとめとして扱っているものである。題材の学習問題「エネルギー枯渇問題」に対してどのようなことができるのだろうか？に対する考えがどの程度育っているかを評価するものである。	・題材「エネルギー枯渇問題」に対する深い理解が示されているか	0: 記述無し/誤解あり 1-5: キーワードに触れるのみ 6-10: 概要説明は出来ているが誤り・不足あり 11-15: 要点を押さえ正確だが具体例が弱い 16-20: 背景・要因・影響まで具体例を交えて深く考察	20
		・【個人としてできること】、【社会としてできること】が分類されて説明されているか	0: 区別が無い 1-5: 見出しのみ 5-10: 区別しているが混同が多い 11-15: 概ね分類出来ているが具体性不足 16-20: 両者を明確に区別し具体例も十分	20
		・4 視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）が適切に関連付けられているか	0: 視点に触れていない 1-10: 1つだけ触れる 11-20: 2-3 視点を列挙するのみ 21-30: 4 視点を示すが関連が浅い 31-40: 4 視点を具体的事例で相互に関連付けて論述	40
		・主張を支える具体的な例やデータが挙げられているか	0: 例・データ無し 1-5: 出典不明の例のみ 6-10: 数値や事例はあるが不正確 11-15: 妥当な例・データを提示する量が不足 16-20: 信頼できる出典付きで十分な例・データを提示	20

⑥ スプレッドシートのシート「指示文」を開き、例に沿って指示文を入力する

① ワークシートに記述されている文章を入力してください。下記のセルに入力されたテキストは評価外になります。					
エネルギー変換【あなたの考え】 題材の学習問題「エネルギー枯渇問題」に対してどのようなことができるのだろうか？に対するあなたの考えを4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）を関連させながら【個人としてできること】と【社会としてできること】に分類してまとめない。					
② 生成AIへの指示（プロンプト） 以下は生徒のレポートです。各評価基準に基づき、良い点と改善が必要な点を生徒に向けてそれぞれコメントしてください。コメントは中学生2年生が理解できる言葉を使ってください。 留意点 1 評価基準を完全に満たしているかを評価し、部分的に満たしている場合はどの部分が不足しているかを具体的に指摘してください。 2 「4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）」のうち、記述されていない「視点」がある場合には必ず指摘してください。 3 「個人としてできること」、「社会としてできること」の2つに分類されて記述されていない場合には必ず指摘してください。 4 ある程度レポートができていない場合には「具体例を追加して記述する」ように促してください。 5 単独に「良い点」や「改善点」を挙げるのではなく、論理的な一貫性や具体性の欠如があれば、それを指摘し、生徒がどのように改善すればよいかを具体的に提案してください。 6 キーワードの羅列で終わらず、内容がどの程度深く、論理的に構成されているかを基準としてください。 7 「例えば」や「例」を用いた具体例の提示は避け、生徒が模倣しやすいようにしてください。 8 「生徒は」という返答の仕方はいけません。 9 レポートに最初から記述されている指示文「エネルギー変換【あなたの考え】 題材の学習問題「エネルギー枯渇問題」に対してどのようなことができるのだろうか？に対するあなたの考えを4視点（社会からの要求、経済性、安全性、環境への負荷）を関連させながら【個人としてできること】と【社会としてできること】に分類してまとめない。」は評価に入れて生徒の記述した文章のみについて回答してください。 10 「良い点」がない場合には「良い点」については回答しないでください。					
③ 回答の多様性の度合い ・値が高い：ランダム性・表現が豊富になる（難易度が上がる） ・値が低い：体系的になり短くまとまる（難易度が下がる） ・値の範囲（0～10）	④ 単語やフレーズの選択範囲の制限 ・値が高い：文脈の「リレーション」が保たれる ・値が低い：単語がバラバラになり体系的にならなくなる ・値の範囲（0～40）	⑤ 構造的な整理 ・値が高い：整理性と多様性が保たれる ・値が低い：もっとうまく整理できず安全・平面的になりやすい ・値の範囲（0～10）	⑥ 生成される出力の最大トークン数 ・値の範囲（0～2048） ・トークン数を増やしても回答が詳細になるわけではない	⑦ 「良い点の指摘」として生成される出力の最大トークン数 ・トークン数を増やしても回答が詳細になるわけではない	⑧ 「改善点の指摘」として生成される出力の最大トークン数 ・トークン数を増やしても回答が詳細になるわけではない
0.2	20	0.8	2000	500	500

⑦ 「拡張機能」→「Apps Script」をクリックする



⑧ 個人シートの作成

「個人シートの作成.gs」→「実行」をクリックする *承認を要求されたら答えていく



⑨ 「プロジェクトの設定」をクリックする



⑩ 「スクリプトプロパティを追加」をクリックする

スクリプトプロパティ

スクリプトプロパティを使用すると、特定のオブジェクトインスタンスに対して簡単にカスタムプロパティを定義および公開できます。詳しくは、[スクリプトプロパティに関するドキュメント](#)をご覧ください。

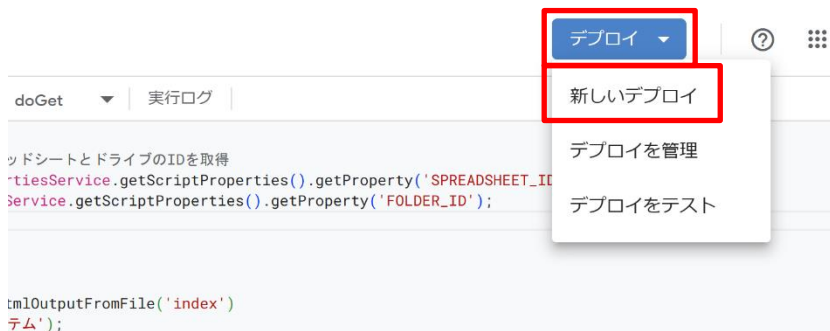
スクリプトプロパティを追加

⑫ 「AZURE_OPENAI_API_KEY」などをプロパティ名として、値を入力する

「AZURE_OPENAI_API_KEY」 P 9～

プロパティ	値
AZURE_OPENAI_API_KEY	
プロパティ	値
AZURE_OPENAI_API_VERSION	2025-01-01-preview
プロパティ	値
AZURE_OPENAI_DEPLOYMENT	gpt-35-turbo
プロパティ	値
AZURE_OPENAI_ENDPOINT	https://assistantaichat.openai.azure.com/

⑬ 画面右上の「デプロイ」→「新しいデプロイ」をクリックする



⑭ 「デプロイ」をクリックする

新しいデプロイ

種類の選択	設定
ウェブアプリ	説明 新しい説明文 ウェブアプリ 次のユーザーとして実行: 自分 (kento-takano@iizuna.ed.jp) このウェブ アプリケーションを実行するために、あなたのアカウント データを使用することを許可します。 アクセスできるユーザー 全員 ライブラリとしても利用できます。詳細
キャンセル デプロイ	

⑮ 「アクセスを承認」をクリックする

新しいデプロイ

このウェブ アプリケーションを使用するには、データへのアクセスを許可する必要があります。

アクセスを承認

⑯ 「許可する」をクリックする

レポート評価システムを信頼してください

このサイトまたはアプリと機密情報を共有している可能性があります。レポート評価システムがデータをどのように取り扱うかについては、利用規約とプライバシー ポリシーをご覧ください。アクセスはいつでもGoogle アカウントで確認または削除できます。

[リスクについて学ぶ](#)

キャンセル

許可する

⑰ URL が生成されるので、アクセスする。(この URL を生徒に配付する)

新しいデプロイ

デプロイを更新しました。

バージョン 1 (2024/10/31 9:44)

デプロイ ID

AKfycbzWcv5n8oKcL9-2Z_1KQnaUG_jPpmKwwDkJ8ooQVU-JO4u1eEYG0XOpFm_Jnw93eQ2nTg

[コピー](#)

ウェブアプリ

URL

https://script.google.com/macros/s/AKfycbzWcv5n8oKcL9-2Z_1KQnaUG_jPpmKwwDkJ8ooQVU-JO4u1eEYG0XOpFm_Jnw93eQ2nTg

[コピー](#)

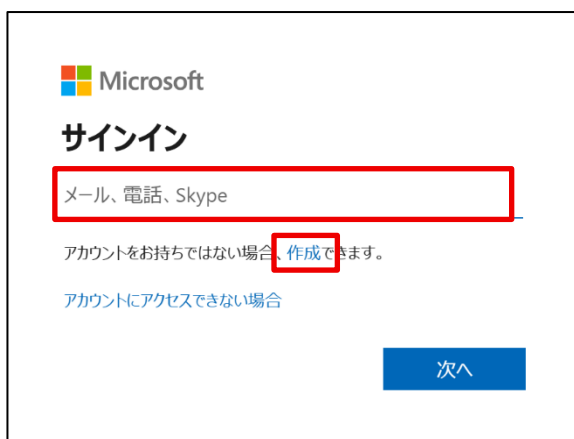
「AZURE」に関する情報の取得方法

- ① 下記の URL に移行し、「Azure を無料でお試ください」をクリックする

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/purchase-options/azure-account?icid=azurefreeaccount>



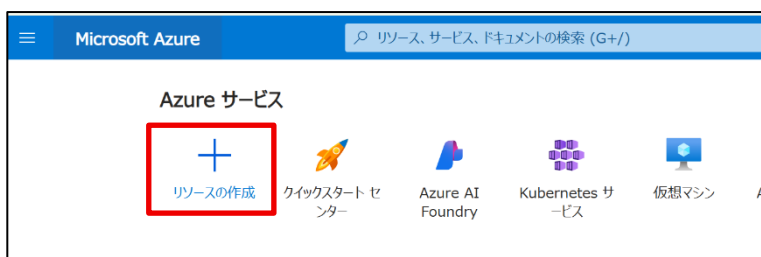
- ② サインインまたはアカウントがない場合には「作成」をクリックする



- ③ サインが完了したら、下記の URL にアクセスする

<https://portal.azure.com/?quickstart=True#home>

- ④ 「リソースの作成」をクリック



⑤ 「Azure OpenAI」をクリックする



⑥ リソースグループに新規作成で名前を入力（例：Assistant-AI-Chat）

名前*にも名前を入力（例：Assistant-AI-Chat）

価格レベル*を「Standard S0」にする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > リソースの作成 >

Azure OpenAI の作成

① 基本 ② ネットワーク ③ Tags ④ レビューおよび送信

Azure OpenAI Service provides access to OpenAI's powerful language models, including all the latest OpenAI models. These models can be easily adapted to your specific tasks, including but not limited to content generation, summarization, image understanding, semantic search, and natural language to code translation. Top use cases include Call Centers, Virtual Assistants, Accessibility, Content Generation, and Code Development. The service also features the Assistants API, Fine Tuning capabilities and many ways to connect your data to the service for conversational experiences. The service can be scaled through Standard (tokens) and Provisioned (PTUs) deployment types.

[詳細情報](#)

プロジェクトの詳細

サブスクリプション* ① Azure subscription 1

リソース グループ* ① (新規) Assistant-AI-Chat
[新規作成](#)

インスタンスの詳細

リージョン ① East US

名前* ① Assistant-AI-Chat

価格レベル* ① Standard S0

[価格の詳細を表示](#)

< 前へ 次へ

⑦ 「次へ」をクリックする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > リソースの作成 >

Azure OpenAI の作成

基本

2 ネットワーク

Tags

レビューおよび送信

Configure network security for your Azure AI services resource.

種類 *

☒ インターネットを含むすべてのネットワークがこのリソースにアクセスできます。

☐ Selected networks, configure network security for your Azure AI services resource.

☐ 無効になっています。どのネットワークもこのリソースにアクセスできません。このリソースにアクセスする唯一の方法となるプライベート エンドポイント接続を構成できます。

< 前へ

次へ

⑧ 「次へ」をクリックする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > リソースの作成 >

Azure OpenAI の作成

基本

ネットワーク

3 Tags

レビューおよび送信

タグは名前と値のペアで、同じタグを複数のリソースやリソース グループに適用することでリソースを分類したり、統合した請求を表示したりできるようにします。 [タグに関する詳細情報](#)

タグを作成してから別のタブでリソースの設定を変更すると、タグは自動的に更新されることにご注意ください。

名前 ①

値 ①

リソース

:

2 項目が選択されました

< 前へ

次へ

⑨ 「作成」をクリックする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > リソースの作成 >

Azure OpenAI の作成

基本

ネットワーク

Tags

4 レビューおよび送信

Automation のテンプレートをダウンロードする

使用条件

"作成" をクリックすることで、お客様は (a) 上記の Marketplace のオファリングに関連する法律条項とプライバシーに関する声明に同意し、(b) Microsoft より、そのオファリングに関連する料金が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求頻度で請求されることを認め、かつ、(c) Microsoft がお客様の連絡先情報、使用量情報、取引に関する情報を、レポート、請求、その他の取引上のアクティビティを目的として、オファリングのパートナーと共有する可能性があることに同意するものとします。Microsoft は、サードパーティのオファリングに対する権利は提供しません。その他の詳細については、[Azure Marketplace 使用条件](#)を参照してください。

基本

サブスクリプション

リソース グループ

リージョン

名前

価格レベル

Azure subscription 1

Assistant-AI-Chat

East US

Assistant-AI-Chat

Standard S0

ネットワーク

種類

インターネットを含むすべてのネットワークがこのリソースにアクセスできます。

< 前へ

次へ

作成

⑩ デプロイが完了したら「リソースに移動」をクリックする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム >

Microsoft.CognitiveServicesOpenAI-20250530170135 | 概要

デプロイ

検索

削除 キャンセル 再デプロイ ダウンロード 最新

概要

入力

出力

テンプレート

デプロイが完了しました

デプロイ名 : Microsoft.CognitiveServicesOpenAI-... 開始日時
サブスクリプション : Azure subscription 1 関連付け
リソースグループ : Assistant-AI-Chat

デプロイの詳細

次の手順

リソースに移動

フィードバックの送信

デプロイに関するエクスペリエンスについてお聞かせください

⑪ 「Explore Azure AI Foundry portal」をクリックする

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

Copilot

ホーム > Microsoft.CognitiveServicesOpenAI-20250530170135 | 概要 >

Assistant-AI-Chat

Azure OpenAI

検索

Go to Azure AI Foundry portal 削除

概要

基本

リソースグループ (移動) : Assistant-AI-Chat API Kind : Ope
状態 : アクティブ 価格レベル : Star
場所 : East US エンドポイント : [エンドポイント](#)
リソースグループ (移動) : Azure subscription 1 キーの管理 : [キーの管理](#)
リソースグループ ID : 5ff62e1e-b237-
タグ (編集) : [タグの追加](#)

開始する Develop Monitor

Build your own secure copilot and generative AI application

Deploy an Azure OpenAI model and start making API calls, data, call functions, and improve workflow with Azure image and speech models. You can access the service through the Python SDK, or our web-based interface in the Azure AI Foundry portal. [Learn More](#)

Explore and deploy

Explore and deploy the generative AI model, craft unique prompts for your use cases, and fine-tune select models.

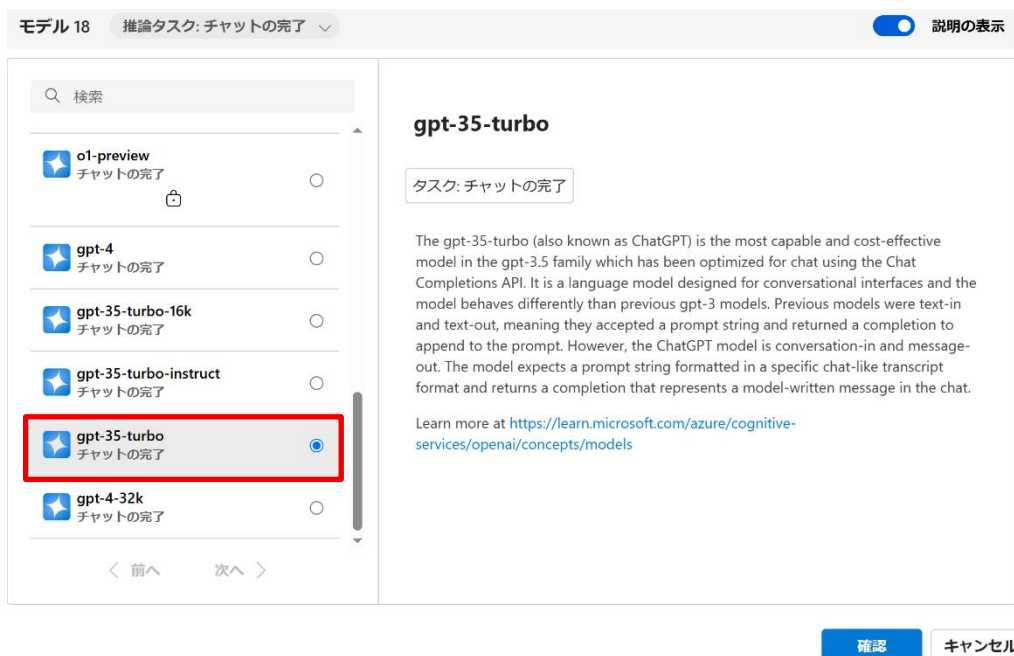
Explore Azure AI Foundry portal

- ⑫ 「新しいデプロイの作成」をクリックする

チャットプレイグラウンド



- ⑬ 「gpt-35-turbo」を選択し、「確認」をクリックする



- ⑭ 「デプロイ」をクリックする

gpt-35-turbo の展開

デプロイ名 *

gpt-35-turbo

デプロイの種類

Standard

Standard: API 呼び出しごとに支払い、より低いレート制限が適用されます。Azure データ所在地の確約に従います。量が小規模から中規模の、間欠的に発生するワークロードに最適です。

[Standard 展開](#) の詳細をご覧ください。

▼ デプロイの詳細

カスタマイズ

モデル バージョン
0125

AI リソース
Assistant-AI-Chat

容量
100K 1 分あたりのトークン数 (TPM)

リソースの場所
East US

コンテンツの安全性
DefaultV2

バージョンアップグレード ポリシー
新しい既定のバージョンが使用可能になったら

デプロイ

取り消し

- ⑮ ⑪のページまで戻り、「リソース管理」→「キーとエンドポイント」をクリックする

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > Microsoft.CognitiveServicesOpenAI-20250530170135 | 概要 >

Assistant-AI-Chat

Azure OpenAI

検索 Go to Azure AI Foundry portal 削除

概要

- アクティビティ ログ
- アクセス制御 (IAM)
- タグ
- 問題の診断と解決
- リソース ビジューアライザー
- ▼ リソース管理
 - 🔑 キーとエンドポイント
 - 🔒 暗号化
 - 🔄 価格レビュー

基本

リソース グループ (移動) : [Assistant-AI-Chat](#)

状態 : アクティブ

場所 : East US

サブスクリプション (移動) : [Azure subscription 1](#)

サブスクリプション ID : 5ff62e1e-b237-456c-

タグ (編集) : [タグの追加](#)

開始する Develop Monitor

Build your own secure copilot and

Deploy on Azure OpenAI

⑩ 「キー 1」 = 「AZURE_OPENAI_API_KEY」

「エンドポイント」 = 「AZURE_OPENAI_ENDPOINT」を P3 のプロパティに貼り付ける

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

Copilot

ホーム > Microsoft.CognitiveServicesOpenAI-20250530170135 | 概要 > Assistant-AI-Chat

Assistant-AI-Chat | キーとエンドポイント

Azure OpenAI

検索

キー 1 の再生成 キー 2 の再生成

- 概要
- アクティビティ ログ
- アクセス制御 (IAM)
- タグ
- 問題の診断と解決
- リソース ビジュアライザー
- リソース管理
- キーとエンドポイント**
- 暗号化
- 価格レベル
- ネットワーク
- ID
- コスト分析

These keys are used to access your Azure AI Foundry API. Do not share your keys. Store them securely– for example, using Azure Key Vault. We also recommend regenerating these keys regularly. Only one key is necessary to make an API call. When regenerating the first key, you can use the second key for continued access to the service.

キーの表示

キー 1

キー 2

場所/地域 ⓘ

eastus

エンドポイント

https://assistant-ai-chat.ope...